

医学生 臨床実習（2 または 4 週コース）

研修プログラム

市立三次中央病院 血液内科

1) 初めに

多くの領域が存在する中、血液内科は遺伝子学などの発達を一番享受している分野といえます。遺伝子解析による診断や予後予測、治療法の選択、新薬の開発など近年、最も進歩した分野の一つであり、現実には多くの患者の無病率、生存率の向上が認められています

一例として、慢性骨髄性白血病による Ph1 遺伝子異常（bcr-abl）の解析、及びこれらの遺伝子異常に対する治療薬（TKI）の開発により“死なない白血病”になっています。

一方、血液学は難しいと敬遠されがちな面はありますが、今後の医療の方向性を考えたとき、学生や研修医のうちにその基礎を学ぶことは大いに重要であると考えます

2) 目的

血液疾患患者の診療を通じて、主に 5 の能力を向上させる

※問題を発見する能力し

※表現する能力

※問題点を分析する能力

※解決策の立案をする能力

※上記を振り返り、学習する能力

3) 実習の概要

代表的な血液疾患を対象として、患者に発生している問題を正確に理解して的確な言葉で表現するとともに、収集した情報を論理的に検討、適切な医学的判断、解決策を決定するための基礎となる能力を身につけることを目標とします。

血液疾患の診断・治療のために必要な知識と技術を学び、さらに必要な情報の収集方法について学びます。また、化学療法などの基礎的知識などを症例ごとに学びます。

【実習目標】

行動目標：

1. 患者に発生している問題を正確に収集するために適切な問診、身体診察を行うことができる
2. 患者の検査結果を適切に判断する
3. 患者に発生している問題を正確に理解し、問題点を要約して発表することができる
4. 収集した情報を論理的に吟味し、患者の診療方針決定のための医学的判断に結びつける

方法を学ぶ

- 6．代表的造血器腫瘍（白血病・リンパ腫・骨髄腫）の病理学的・細胞学的・分子生物学的な診断法を理解する
- 7．代表的造血器腫瘍の標準的治療法と支持療法について概略を述べることができる
- 8．代表的な出血性疾患・血栓性疾患の診断法と治療法を理解する
- 9．代表的な血液製剤の使用法、輸血療法の適応、輸血合併症への適切な対応法について理解する
- 10．易感染性宿主に発生する感染症の診断法と治療法を理解する

実習要領：

- 1．患者の受け持ち（病棟）

原則として学生1名に対して数名の担当患者を割り当てます（月曜）

外来では主に初診患者につき問診などの診療をおこないます

適時、輸血実習、骨髄検査見学などを行います。

指導、課題に対する自習により基本的な思考などを深めていただきます

各自、模擬的に紙カルテを作成し記録を残します

週末に一週間の担当患者の経過についてのプレゼンテーションを行います（金曜）

上記の内容に対して毎週末にお互いに評価しあいます

実際の化学療法は3週ないし4週毎に行われるものが大半であるため、できる限り4週での実習をお勧めします。